

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」  
海外の専門情報

No.24

調査者	藤田 吾郎、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年4月23日
情報ソースの調査日	2020年4月24日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月3日
日本語タイトル	将来を見据えた心臓リハビリテーション: COVID-19 中の遠隔医療へのサービスの移行
情報ソース	Thomas E, et al. Future-proofing cardiac rehabilitation: Transitioning services to telehealth during COVID-19. Eur J Prev Cardiol. 2020 Apr 23
情報のカテゴリー	回復期の心リハ、生活期の心リハ
発信地域	オセアニア (オーストラリア)、北アメリカ (カナダ)
DOI	10.1177/2047487320922926
URL	<a href="https://journals.sagepub.com/doi/full/10.1177/2047487320922926">https://journals.sagepub.com/doi/full/10.1177/2047487320922926</a>
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Yeو 論文 (DOI: 10.1177/2047487320915665) に対するレター</li> <li>• 遠隔医療による心臓リハビリ (CR) に関する質の高いエビデンスがある (国際的な臨床試験は 30 以上実施されている)。</li> <li>• 遠隔医療開始前に、臨床的ニーズ、患者関連ニーズ、そして提供可能なテクノロジーの検討を要する。</li> <li>• 電話、メール、Short Message Service、モバイルアプリなど、それぞれに特徴がある。</li> <li>• ビデオ会議は、リモートで運動を監視し、グループでの利用もできる (効率性の向上や体験の共有も期待される)。</li> <li>• 患者は、WEB ベースの情報リソースによる、エビデンスに基づく包括的な CR の教育プログラム (オンライン運動ビデオ) も利用できる。</li> <li>• COVID-19 パンデミック段階では、患者とスタッフ両者を感染から守りつつ、二次予防や自己管理サポートを逸さないような遠隔医療が検討されている。</li> </ul>
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遠隔医療の臨床的エビデンスや費用対効果が明確になりつつある。</li> <li>• 日本での遠隔医療による CR の推進が期待される。</li> </ul>